

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表 R2.3.25 管理者 井上 学

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	1	利用者人数は、多くても4人とし、小集団の活動を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			ほぼ1対1で対応をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3		室内は比較的シンプルな構造であり、児童にはどこに何があるか分かるよう、視覚の情報を取り入れている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	3		毎日の振り返りと、毎週水曜日に情報の共有と会議を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		4	1	アンケートを基に業務改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	4		ホームページにて公開を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	1	第三者評価は実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> 月に1度以上、社内研修を行っている。 外部研修にも積極的に参加し伝達講習を行い、資質向上を目指している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> スタッフ全員の視点で、支援会議を行い、児童の課題を分析し支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		5		独自のアセスメントツールにて、生活の状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		活動リーダーが中心となり、職員の意見をまとめ、活動プログラムの組み立てを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> 個々の児童の状況や状態により、対応を工夫している。 その日の児童の様子から、活動内容を変更する時もある。 季節に合わせたイベントも行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3		月の課題目標を決め取り組んでいる。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	3		障害特性や発達段階を考慮し、サービス計画を作成している。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 朝の打ち合わせを毎日行い、その日の活動内容等を確認している。 活動内容はその都度職員が確認できるよう、支援室に掲示している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> その日のうちに振り返りを行うよう努めている。 問題点があればすぐに職員間で話し合いを行っている。 気づいた点はその日のうちに、記録するよう努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 担当したスタッフが、児童の行動、情緒等気づいた事があればすぐに記録している。 振り返りの時間で、検証・改善に努めている。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2	1	定期的に支援会議を行い、見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		5		児童、家族、地域と包括的な視点で支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		5		児童の事を一番理解しているスタッフが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ご家族を介すことを中心に行っている。 突然、下校時刻が変わった時に親御様と連絡が取れるようにする。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4		医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3		親御様より情報を収集している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5		ご家族から依頼があった場合行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	1	適宜受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	児童館に行くが、積極的に交流は図っていない。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	1	会合の情報がなく、参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		・送迎時に利用時の様子を伝えるようにしている。 ・日々の送迎時、保護者との共通理解を持ち、支援に関わるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		5		保護者向けに5回に分けて、ペアレント・トレーニングの研修を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	4		契約時説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3		定期的ではないが、悩み事の相談には随時対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		保護者会を年6回行い連携を支援した。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	4		迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	3	1	・きぼう便りを発行している。 ・きぼう祭り・ふれあい参観などの行事を設け、活動内容・情報共有を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			鍵付書庫などで書類を管理する等、取扱いには注意をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	2		児童に対して、「穏やかに、近づいて、静かに」を心掛けて、伝わるように伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	2	行事は行っているが、地域住民を招待するまでには至っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		・社内で研修を行い対応の確認を行っている。 ・実際に発生した場合は、後日対応策を再確認し改善すべき点は職員に周知している。 ・保護者への周知、発生を想定した訓練は十分とは言えない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		3	2	・訓練を行った際は、訓練の内容・様子等をきぼう便りにて報告していきたい。

40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		5		虐待研修には毎年参加し、社内で伝達講習を行っている。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		現時点で身体拘束の記載が必要と思われる児童はいない。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		アレルギーを持っている児童は、保護者から情報を頂き対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事業所だけでなく、法人全体で共有している。